



第二期

寺子屋ことば学

かいぶらり教養セミナー

金田一館長 連続講座

ことばの世界に日本語学の

専門家・金田一秀穂が誘います。

参加
無料

令和元年

■受付期間 8月6日(火)～8月25日(日)

■定員 100名 (定員を超えた場合は抽選)

受講決定者には9月5日発送のハガキで通知します。

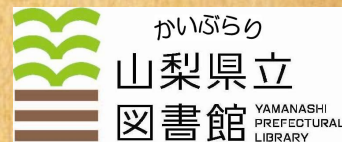
■講座日 9月22日(日) 10月20日(日) 11月17日(日)
12月15日(日) 1月19日(日) 2月23日(日)

■講座時間 午後1時30分～午後4時

■会場 山梨県立図書館1階 イベントスペース東面

■受講要件 高校生以上で、全6回の出席が可能な方

■申込方法 ①ファックス 055-255-1042 ②図書館カウンター
③電子メール kikaku@lib.pref.yamanashi.jp



山梨県立図書館HP
(スマートフォンサイト)

氏名 (カナ)	
氏名 (漢字)	
住所	〒
電話番号	()

-----(-切り取り線)-

昨年からはじめた連続講座の二年目です。ことば一般の基本について一年間やってきて、今年は日本語について、もっと基礎的な部分を、より専門的に狭めてお話していきたいと思っています。つまり、ふだん大学で話しているような内容です。ただし、反応を見て変えていきたいともっています。皆さんの積極的な参加を待っています。

日本語の形ということから始めたいのですが、脱線ばかりしそうです。よろしくをお願いします。



講座内容

第1回 令和元年9月22日(日)

日本語の分析法

日本語学は、小中高で習った国語とは違います。日本語教育と国語教育の違い、日本語教育に必要な考え方を紹介します。

第2回 令和元年10月20日(日)

日本語のカタチ

言葉は記号です。記号は意味を伝えるものと、伝えられる意味とでできています。日本語も記号です。記号としての日本語について、基礎的な考え方を紹介します。

第3回 令和元年11月17日(日)

日本語の音

言葉は音でできています。日本語の音について知ることは、日本語についての一番基礎的な知識です。日本語の音はどのようにできているのでしょうか。

日本語を作っている音にはどんなものがあるのか。その作り方、その種類について学びます。

第4回 令和元年12月15日(日)

音声の種類

日本語の音が外国語とどう違うか、どう同じであるか。音の性格が日本語全体に大きな影響を与えています。

第5回 令和2年1月19日(日)

音の視覚化

音を目に見えるようにしたものが文字です。世界の中でも最も難しいと言われる読み書きの問題に迫ります。もっと単純にできないのか。難しすぎないか。特に漢字について取り上げます。

第6回 令和2年2月23日(日)

日本語の音と文字

今年度の講座のまとめをします。

※講座内容は予定です。確定ではありませんのでご了承ください。

・全6回受講した方には館長サイン入り修了証書を授与します。

* 参加費は無料ですが、交通費、駐車場代は受講者の負担となります。

* 図書館北側に普通車153台の駐車スペースがあります。

図書館利用者(受講者)は総合案内・サービスカウンターでの処理により1時間以内は無料、以降30分につき一般車は150円の駐車料金が必要になります。できるだけ環境にやさしい公共交通機関でご来館ください。

お問い合わせ 山梨県立図書館 企画振興担当

〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号 電話 055-255-1040(代)